

# 患者様からのご意見・ご要望

日々患者さまより頂きましたご意見・ご要望に関しては関連する部署の責任者に報告しております。間然すべき点や取り入れたほうが良いことなど出来る限り対応したいと考えております。ご意見の中で特に危険なこと、多くの方が希望していることを優先に対応したいと考えております。もちろん少数意見も対応させて頂いております。前回に引き続き、今までのご意見の中で多くいただいたものや最近よくいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきます。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。今後もお気付きの点やご要望をお聞かせください。(※印 = 進捗報告)

ご意見・ご要望	改善等
夜間入口について インターホンのご案内	『ベビーカーで救急外来を受診する時、正面玄関口が開いていないので、ベビーカーで下まで来るのがとても大変でした。スロープ等あれば嬉しいです』とのご意見をいただきました。 休日・時間外はセキュリティの関係上正面玄関を施錠しており、原則、中央棟地下1階の時間外口をご利用していただくことになっています。しかしながら、車椅子を使用されている患者さま等が正面玄関から時間外の出入口まで移動するのは困難な為、正面玄関（右手動扉脇）のインターホンを利用していただければ警備の者が開錠させていただきます。ベビーカーの場合でも状況によって、ご利用していただければ対応させていただきます。
電動車椅子について	『この病院では、電動車椅子の使用をすべてお断りしているのですか?』とのご意見をいただきました。 大型(三輪等)の電動車椅子に関しては、院内走行中に患者さまやお子さまにぶつかる危険性、待合スペースやエレベーター等の設備の関係から利用を控えていただいています。電動車椅子でお越しの場合は入口で一般の車椅子にお乗換えをしていただいております。 ただし、身障者の方で小型電動車椅子を利用される方については、特に制限をしておりませんのでご利用下さい。運用の徹底がされていない為、適切にご案内が出来なくご迷惑をお掛けいたしました。
血圧計の位置、表示について	『血圧計の設置位置が回りの人の目につきやすいところにあり、落ち着いて計れないので、設置場所を変更してください。』『血圧計の設置位置が分かりにくい』とのご意見をいただきました。 患者さまがご利用しやすい場所を検討した結果、2階外来フロアの中央(現在の位置)に設置いたしました。別途患者様からのご意見で、血圧測定機の台数が不足しているのご意見も過去に頂いていることから、現在より落ち着いて計測できる場所に増設することを検討いたします。 また、設置場所の案内につきましては、病院案内図(配布リーフレット)に掲載させていただきますが、場所等ご不明な点がありましたら受付にお問合せください。
薬の説明について(※)	『薬の量、種類はもっと直接内容説明がほしい。薬局へ行ってから多いのにおどろく。』とのご意見をいただきました。 本来診察時に説明を行いますが、患者様によって説明を希望される内容が異なります。一般的なことについては通常の説明で行ないますが、ご不明な点・分かりづらいことや詳細な説明をお聞きになりたい場合は、医師もしくは診療科スタッフまでお申出下さい。また、薬効等については院外薬局でも説明を受けることが出来ますのでご質問ください。
ご意見カード回収ボックスについて	『院内にご意見箱があることは良いことと思われるが、書いた意見がどのようになっているのかが分からない。』とのご意見をいただきました。 回収したご意見については、院長をはじめ、該当部署責任者に回覧を行なっています。内容に即して、病院や各部署において調査し、改善策を検討し対応を行なうよう努めております。 また、院内の回収箱ですが、救急外来(中央棟地下1階)とボランティアカウンター(中央棟2階)に新たに設置いたしましたのでご利用ください。
病棟の備品について	『体温計に前の人のにおいが残っていて気分が悪かった。』とのご意見をいただきました。 毎回、使用後に必ず消毒をする運用となっております。患者さまに不快感を与えないよう備品の使用には注意を払うよう周知徹底いたしました。
トイレトペーパーの質について(※)	多数の患者さまから『院内のトイレトペーパーの質について』のご意見・ご要望をいただいておりますが、12月下旬より、柔らかい質のものに交換いたします。
西棟の入口について	『西棟の出入り口なのですが、車椅子での移動の人が多いいと思います。自動ドアになりませんか? 挟まりそうで危ないです。』とのご意見をいただきました。 構造・経済上のことから、現状の扉を自動扉に変更することは困難です。西棟をご利用される方は、車椅子での移動の方が多くいらっしゃると思いますが、介助者と共に移動される事と思います。 現在の扉は、ストッパーがついていないことから、扉に挟まれる危険性がある為、ストッパーの設置を行ないます。

## 編集後記

雨が続いて、すっきりしない空模様の日ですが皆さんはいかがお過ごしでしょうか。先日、宮崎県の延岡市に行った際、空に降るような星を見て感動いたしました。冬の星座であるオリオン座(他の星座は余り分からないのですが・・・)がくっきりと美しく輝いているのを見て、心が洗われるようでした。師走の時期に皆バタバタと忙しい日々をお過ごしですが、日頃の慌しさを忘れ、フッと息をついてみるのもいいですよ。本年も残りわずかとなりましたが、皆さん健康に留意してよい新年を迎えましょう。

広報委員会 委員 大崎 千恵子

北部病院だより 第15号

平成15年12月1日発行

発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL : <http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がダウンロードできます。

# 北部病院だより 第15号

第15号【2003/12/01 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院

## ●巻頭言

「整形外科の病氣とうまく付き合う方法」

整形外科科長・専任講師 西山 嘉信

## ●北部イベント情報

園児からの贈り物

循環器センター手術ライブ

## ●ボランティアさんの紹介

## ●医師の配属・異動・退職

## ●診療統計

## ●外来担当表

## ●患者様からのご意見・ご要望



今年は頭が動きます!! 中央棟1階会計ロビー

## 巻頭言

### 『 整形外科の病氣とうまく付き合う方法 』



整形外科 科長

西山 嘉信

整形外科は、手足と体幹の骨格に生じた怪我や病氣を取り扱う科です。ですから、どのような症状も密接に日々の生活に影響を及ぼします。一番お悩みの症状(主訴)で最も多いものは痛みです。ある程度まで固定した持続する痛みや治療に抵抗する痛みは、ペインクリニックという専門分野に委ねるとしても、痛みをおこす原因を診断し治療し、さらに予防するのが我々の仕事です。

怪我を除いた病氣の場合、具体的には、腰、膝の故障を訴えられる方が外来患者数の半分以上を占めます。腰の病氣では、ぎっくり腰・腰椎椎間板ヘルニア・腰部脊柱管狭窄症などがあり、膝では変形性膝関節症が多く見られます。それぞれの病氣の発症の仕方は違いますが、痛みを感じ始めたときに、その痛みを体からの警告と受け止めて、早めに受診し、早めに治療を開始する事が理想です。しかしながら、各個人で痛みに対する反応の仕方が異なるのも事実で、過敏なまでに不安を抱いてしまう方から、忙しさのあまり極限まで我慢してしまう方もいます。治療する側から見れば、どちらも治療をしにくいのですが、特に前者のほうは、不安を取り除くのに時間がかかります。

健康志向、医療情報の氾濫、数多い医療事故の報道に取り囲まれた環境の中で、期せずして腰または膝が痛くなり、診察の結果、腰が悪いですか、膝が悪いですかといわれたら、将来が不安になるかもしれません。しかし幸いな事に、整形外科疾患の多くは、治療をしていくと、ある期間で痛みはやわらぎ、つい痛かったことも不安を抱いた事も忘れてしまいます。ところが、本当の意味での治療はその後始まるのです。つまり、再発の予防です。

生活習慣病については盛んに食事療法や運動療法の大切さが取り沙汰され、実践されている方も多いいと思います。残念ながら、まじめに実践されている方にも、老化現象は訪れますので、腰の痛い時期、膝の痛い時期はやってきます。痛い時期に運動を続ける事はかえって症状を悪化させる事にもなりますので、休息が必要ですが、痛みが治まった後には、是非とも故障箇所を気にして、お手入れし、鍛えなおして、上手に付き合っていくという考えを持っていただきたいと思います。このように考えておられたら、少しでも不安は解消するのではないのでしょうか。手術治療が必要な場合でも、整形外科の場合は、手術が治療の終わりではなく、そこから新たなリハビリや、再発予防、機能の維持といった事が始まりますので、同じ考え方が必要です。

さて、最近の医学の進歩は目覚しく、高度先進医療ならびに遺伝子治療への期待など、将来に託するものは数多くあります。私が医師になって19年になりますが、過去を振り返っても整形外科医になった当時と現在では、治療の内容が大きく異なります。代表的なものを御紹介したいと思います。

お年寄りの太腿の付け根の骨折(大腿骨頸部骨折)では、人工骨頭や骨接合術(金具でとめて骨癒合させる)をしますが、医療材料が優れたものになったために、骨折後速やかに手術をし、速やかに歩行訓練ができるようになりました。早い方では、2-3週で退院が可能です。また、骨粗鬆症に対する診断方法と治療薬の進歩のために、骨粗鬆症による骨折を起こした方が、再び骨折するのをその約3割から5割に予防する事ができるようになりました。さらには骨粗鬆症の早期診断に主眼が置かれ、40から50歳代を対象とした診断と治療、食事・運動療法では30歳代を対象にしはじめています。

腰椎椎間板ヘルニアについては、MR I調査の結果、7-8割の方はヘルニアが小さくなったり消失する事がわかりましたので、手術をしないう治療を医者の方が選ぶようになりました。しかし、2-3割の方は手術をしなればならないのも事実です。このように、多くの福音がもたらされている中で、一番大切なことは病氣を理解する事と、やはりその予防です。情報の氾濫した中で、かえって不安になってしまう方がいるのは報道の仕方に問題があると私には思われますが、上手に情報を活用されて、健康を維持されていかれてはいかがでしょうか。



# 北部イベント

## 園児からの贈り物



11月18日(火)、牛久保西の『社会福祉法人イクソス会 つづきルテール保育園』の園児たちが園内行事『収穫感謝祭』の一環で当院に訪れました。収穫祭では保育園に集まった果物を園丁に飾り、感謝の礼拝を行ってから、日頃お世話になっている地域の方々へ感謝の意をこめて果物をお届けするという行事だそうです。当日、中央棟1階の総合案内で可愛い天使達から直接感謝の言葉とプレゼントを頂きました。

総合案内

## 循環器センター手術ライブ

手術室・西棟4階講堂



昨年に引き続き今年も11月29日に第2回北手術ライブデモンストレーションが、代表世話人の手取屋助教授を中心に、循環器センター外科チームによる手術ライブを行いました。今年も、心拍動下の冠動脈バイパス術および、腹部大動脈に対するステントグラフト内挿術を施行いたしました。冠動脈バイパス術では、バイパス血管を採取する際には、沖医師による日本で許可されて間もない内視鏡下の血管採取が行われ、血管吻合においても手取屋助教授による最新のデバイスを使用した手術に来院された地域医療に携わる医師会の諸先生よりたくさんの反響をいただきました。

ステントグラフト内挿術は、北里大学の西巻先生と林先生による足の付け根からカテーテルを挿入し、瘤部分にステント留置を行いました。2例とも術後経過は順調です。今回の手術ライブも、大成功に終わりましたが、コメディカルを含めた多くの方々のご協力により成し得たと考えております。また、来年にむけて更なる切磋琢磨し、邁進していきます。

## ボランティアさんの紹介



今月号では、具体的なボランティアさんの活動内容についてご紹介いたします。外来での活動は、場所の案内、問診票の記入介助や再来受付機・自動会計機の取り扱い援助、車椅子の整理整頓、危険な事がないかと外来全般を見回り、患者さまが気持ちよく受診できるよう心を配ってくれています。汚れている場所や危険な場所など活動の中で気付いたことを教えてくれます。病棟においての活動は、現在は西棟3階の痴呆病棟を主としております。みんな一緒に体操をしたり歌を歌ったりしながら、患者さまに危険なことが起きていないかと気を配って病棟の雰囲気を感じてくれています。時にはご家族のお話の聞き役になったり活動してくれています。

現在の病棟のボランティアさんは、現役大学生の若いメンバーさんです。患者さまにとっては、自分の孫に接するように笑顔でボランティアさんの周りに集まっています。黄色いエプロンはまさに『幸福の黄色い木綿布』としてお役に立たせていただいております。また、患者さま、ご家族さまからのご要望やご意見をいただいた際には、当日の活動日誌に記して病院に伝えてくれています。ご要望等も何なりとお気軽にお話しください。

## 患者さまへのお知らせ・お願い

### 年末年始休診のお知らせ

12月28日(日)～平成16年1月4日(日)まで、年末年始のため休診となります。

### 公開講座のお知らせ

- 平成16年1月17日(土)に開催を企画しております。今回の題目は、
- 『小児科診察室から見た子育て』 こどもセンター 教授 板橋家頭夫
  - 『最新の糖尿病治療 ～特に‘境界型’の重要性について』 内科 助教授 辻正富
  - 『緩和ケア ～癌と共に生きぬく～』 内科 助手 坂下暁子

※上記3タイトルを予定しております。詳細が確定いたしましたら、院内掲示物等でお知らせいたします。

## 医師の配属・異動・退職

### 異動・退職医師 11/30付【10/1～11/30】

- 佐久間 浩子 (循環器センター)
- 土肥 俊一郎 (循環器センター)

## 診療統計

2003年11月統計データ( )内は1日平均

外来患者数 27,036人(1,039.8人)、入院患者数 17,606人(567.9人)、救急車搬送件数 312人(10.1人)、手術件数 440件(20.0)

# 外来担当表

【2003/12/01 改定】

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
呼吸器センター	門倉光隆(初再診)	豆原慶太(初診)	鹿間裕介(再診)	大塚寿々子(初診)	西片 光(初診)	医局員(初診)	鹿間裕介(初再診)	神尾義人(再診)	門倉光隆(再診)	松田正典(初診)	医局員(初診)
	豆原慶太(初再診)	豆原慶太(初診)			中神和清(再診)		豆原慶太(初再診)	豆原慶太(初診)	豆原慶太(初再診)	大塚寿々子(再診)	
	北見明彦(再)		中島宏昭(初)					松田正典(再)	中島宏昭(再)	中島宏昭(再)	
消化器センター(28-2)	深見悟生		田中淳一		木暮悦子	木暮悦子	井上晴洋	薄井信介	大塚和朗	大塚和朗	為我井/小池
消化器センター(28-3)	竹内 司	竹内 司	大塚和朗	大塚和朗	深見悟生	深見悟生	出口義雄	永田浩一	為我井芳郎		日高英二
消化器センター(28-5)			加藤博久(偶)	辰川貴志子	大谷/大前		笹島圭太	笹島圭太	佐々木廣仁	佐藤嘉高(隔)	里館 均
消化器センター(28-6)	加澤玉恵		櫻田博史	倉橋利徳	小幡まこと	小幡まこと	竹内 司	加藤博久(奇)	倉橋利徳	倉橋利徳	工藤由比
消化器センター(28-7)	山村冬彦	山村冬彦	工藤進英	工藤進英	石田文生	山口祐二	櫻田博史	山村冬彦	遠藤俊吾	遠藤俊吾	大森/藤原
					岩下方彰(偶)			工藤進英(特殊診)			
循環器センター	緒方信彦	手取屋岳夫	落合正彦		小原千明	沖 淳義	落合正彦		岡林宏明	加藤源太郎	医局員
					荒木 浩				林宗博(偶)		
精神神経科(初診)	工藤行夫		吉益晴夫		秋元洋一	松丸憲太郎(物忘れ外来)	西岡玄太郎		野崎伸次	古田伸夫(物忘れ外来)	田邊祐二
精神神経科(再診)	田邊祐二		秋元洋一		野崎伸次		吉益晴夫		工藤行夫		松丸憲太郎
精神神経科(再診)			佐野奈々		古田伸夫		伊川太郎		西岡玄太郎		田中駿史
精神神経科(再診)					医局員						医局員
内科(緩和ケア) 予約のみ		坂下暁子		高宮有介				高宮有介		坂下暁子	
内科(23-2)	富田高重(内科消化器)	富田高重(内科消化器)	富田高重(内科消化器)		菊嶋修示(循環器不整脈)	菊嶋修示(循環器不整脈)			菊嶋修示(循環器不整脈)		菊嶋修示(循環器不整脈)
内科(23-3)	衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)		衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	坂下暁子(内科血液)			川崎仁志(内科神経)	医局員
内科(23-5)	坂下暁子(内科血液)	高橋 健(内科腎臓)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	三代川重雄(内科消化器)	三代川重雄(内科消化器)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	三代川重雄(内科消化器)
内科(25-2)	佐藤 温(内科消化器)	佐藤 温(内科消化器)	佐藤 温(内科消化器)		木村 聡(内科・感染症)				佐藤 温(内科消化器)		医局員
内科(25-3)	田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)		田口 進(内科消化器)			田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)		
内科(25-5)	荻原 徹(糖尿病、内分泌)		嶋田 顕(内科消化器)	中山文義(腎)(第1火休診)	荻原 徹(糖尿病、内分泌)		嶋田 顕(内科消化器)	嶋田 顕(内科消化器)	荻原 徹(糖尿病、内分泌)		荻原 徹(糖尿病、内分泌)
内科(25-6)		三上哲弥(内科消化器)		渡邊浩之(一般内科)			緒方浩顕(内科腎臓)	三上哲弥(内科消化器)	三上哲弥(内科消化器)	渡邊浩之(一般内科)	緒方浩顕(内科腎臓)
内科(25-7)			辻 正富(糖尿病、内分泌)	辻 正富(糖尿病、内分泌)		伊藤英利(内科腎臓)	辻 正富(糖尿病、内分泌)	辻 正富(糖尿病、内分泌)	伊藤英利(内科腎臓)		辻 正富(糖尿病、内分泌)
小児科	野中善治	予防接種 予約のみ	野中善治	乳児検診 予約のみ(新生児科)	北澤重孝		野中善治	成育外来 予約のみ	野中善治	乳児検診 予約のみ(新生児科)	医局員
小児科	(曾我恭司)		板橋家頭夫		高野忠将		(高野忠将)		板橋家頭夫		医局員
小児科	高野忠将				京田学晃		廣畑裕子		西岡貴弘		医局員
小児外科		杉山彰英		大橋祐介		五味 明		大橋祐介		五味 明	杉山彰英(奇) 真田 裕(偶)
皮膚科(初16-3)	宋 寅傑		濱口太造	宋 寅傑	島田洋子		濱口太造	島田洋子	宋 寅傑		医局員
皮膚科(再16-1)	濱口太造	三浦久美子	宋 寅傑	濱口太造	濱口太造	三浦久美子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	
皮膚科(再16-2)	三浦久美子	外科手術	長村藏人	外来手術	長村藏人	外科手術	三浦久美子	外科手術	長村藏人	外科手術	
外科	中村明央		新井一成		新井一成		新井一成		中村明央		中村明央(奇) 新井一成(偶)
外科									成原健太郎	岩波正英(偶)	黒井克吉(乳癌外来隔土のみ)
形成外科	(大塚/野田)		(大塚/野田)		大塚尚治		(大塚/野田)		野田弘二郎		大塚(1,3週) 野田(2,4,5週)
脳神経外科(初再診)	池田尚人(診断書外来)		医局員	当日のみ	池田尚人	退院後外来	川村典義		川村典義		川村典義(奇) 池田尚人(偶)
脳神経外科(再診)	畑山和己 予約のみ	池田尚人 予約のみ	医局員		川村典義 予約のみ			桑沢二郎(奇) 予約のみ	池田尚人		池田尚人(奇) 川村典義(偶)
整形外科	医局員(初診外来)	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	医局員
整形外科	松久孝行	ギプス診 予約のみ	山村拓也		松久孝行	ギプス診 予約のみ	山村拓也		富田一誠		医局員
整形外科	川崎恵吉		渡邊兼正		富田一誠		川崎恵吉		渡邊兼正		
産婦人科(初診12-7)	下平和久(奇)		高橋 諱(長谷川潤一)		富田一誠		高橋 諱(折坂 勝)		小川公一		医局員
産婦人科(産科I(12-1))	長谷川潤一		小川公一		下平和久		近藤哲郎		鈴木紀雄		
産婦人科(産科II(12-6))	高橋 諱(折坂 勝)								宮本真豪		特殊診 予約のみ
産婦人科(産科I(12-8))	小川公一		鈴木紀雄		近藤哲郎		高橋 諱		下平和久		特殊診 予約のみ
産婦人科(産科II(12-6))			長谷川潤一		折坂 勝				宮本真豪		
泌尿器科(初診)	佐々木春明	椎木(検査のみ) 予約のみ	椎木一彦		鈴木俊一	鈴木/青木(検査予約のみ)	青木慶一郎		島田 誠	青木(検査) 予約のみ	佐々木/鈴木(初)
泌尿器科(再診)	島田 誠	島田(女性外来) 予約のみ	医局員		青木慶一郎		鈴木俊一		佐々木春明	佐々木(男性外来予約)	青木/椎木(再)
泌尿器科(再診)		七条武志									椎木一彦
眼科	玉井裕子	特殊診(玉井)	小池正直		紀平弥生		小池正直	特殊診(小池)	紀平弥生	特殊診(紀平)	小池正直(奇) 紀平弥生(偶)
眼科	大野 淳	大野 淳	大野 淳	特殊診(大野)	玉井裕子		紀平弥生		玉井裕子		玉井裕子(奇) 恩田麻維子(奇)
眼科	恩田麻維子	恩田麻維子	恩田麻維子	恩田麻維子			恩田麻維子	特殊診(恩田)	大野 淳		大野 淳(偶)
耳鼻咽喉科13-2①	門倉義幸(初診)	めまい外来 再診・予約のみ	池田尚弘(初診)	アレルギー-外来 予約のみ	医局員(初診)		柳裕一郎(初診)		医局員(初診)		医局員(初診)
耳鼻咽喉科13-2②	徳丸吉志(再診)		大嶋・五味潤	小児外来 予約のみ	医局員(再診)		門倉義幸(再診)		医局員(再診)		味覚外来 予約のみ
耳鼻咽喉科13-3	柳裕一郎(再診)		柳裕一郎(再診)	小児外来 予約のみ			池田尚弘(再診)				
耳鼻咽喉科13-5		補聴器外来 予約のみ(奇)			補聴器外来 予約のみ(偶)				補聴器外来 予約のみ		

◎ 放射線治療の外来日は、月火水金： 馳澤憲二です。